

レジメン名

6-MP+MTX/ATRA(維持療法)

出典 Blood, 5 MAY 2011.vol 117,No18(4716-4725)
 ベサノイドカプセル添付文書2018年6月改訂
 メトトレキサート[®]・バイオアペイラビリティ メーカー提供資料

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

急性前骨髄性白血病
進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

投与減量の基準

WBC	3万/mm ³ を超える		
その他			

投与中止の基準

WBC	3万/mm ³ を超える、または2000/mm ³ 未満		
ANC	1000/mm ³ 未満	Cr	3.0mg/dL以上
T-bil	3.0mg/dL以上	LVEF	50%未満
その他	APL分化症候群が疑われる症状 偽性脳腫瘍 * T-bil、CrはATRA+ATO療法のレジメンを参考、 出典(WBCは維持療法の毒性報告)を参考に決定。		

1クール期間
 (次のクールまでの標準期間)

総クール数
 ※アーム1とアーム2を3
 か月間交互に施行

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
6-メルカプトプリン(ロイケリン)	90mg/m ²	経口	分1眼前	d1-連日(3か月間)※アーム1
メトトレキサート(メトトレキサート)	15mg/m ²	筋注 ^{※2}		d1(週1回)(3か月間)※アーム1
メトトレキサート(メトトレキサート)	20mg/body	経口 ^{※2,3}		d1(週1回)(3か月間)※アーム1
※2 メトトレキサートは筋注または、経口いずれかを選択。出典では筋注だが、汎用性を考え内服20mg/bodyも可能とした。 ※3 メーカー資料より、メトトレキサート内服のバイオアペイラビリティが、筋注のバイオアペイラビリティのおおよそ50%であるため、20mg/bodyで設定した。				
ATRA(ベサノイド)	45mg/m ²	経口	分3(食後)	d1-15(3か月間)※アーム2

1日投与順
 (経時的にプレ Medikation・ホスト Medikation、
 溶解液まで含む)

<アーム1>[※]
 d1-連日(3か月間)
 ロイケリン散 90mg/m² 分1(眼前)

d1-weekly(3か月間) 経口又は筋注^{※2}
 メトトレキサート 15mg/m² i.m.
 メトトレキサート 20mg/body^{※3} p.o.

<アーム2>[※]
 d1-15(3か月のうち)
 ベサノイド45mg/m² 分3(食後)